

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
必修	2単位	卒業研究Ⅱ	高山 有紀	2年次	秋

授業のキーワード	教育史、学校文化、教育問題
授業の概要	日本の教育の歴史を概観し、その上に立つ現代の教育と、教育をとりまく状況について理解していきます。また、ゼミ論文を完成させます。
期待される学習成果（目標）	日本の文化・社会を、「教育」という視点から捉える試みによって、日本について、また人間について、より深く理解することができるでしょう。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。	第9講	報告	ゼミ論文に関する報告を各自で行います。質疑応答。
第2講	報告	夏休み中に行った作業をふまえ、ゼミ論文に関する報告を各自で行います。質疑応答。	第10講	報告	ゼミ論文に関する報告を各自で行います。質疑応答。
第3講	報告	夏休み中に行った作業をふまえ、ゼミ論文に関する報告を各自で行います。質疑応答。	第11講	個別指導	ゼミ論文執筆の個別指導。必要に応じて履修者同士の情報交換を行います。
第4講	報告	ゼミ論文に関する報告を各自で行います。質疑応答。	第12講	個別指導	ゼミ論文執筆の個別指導。必要に応じて履修者同士の情報交換を行います。
第5講	ゼミ論文の書き方	本格的な執筆活動に向けて、担当者が模擬報告を行います。卒業生のゼミ論文を読みます。	第13講	個別指導	ゼミ論文執筆の個別指導。必要に応じて履修者同士の情報交換を行います。
第6講	報告	ゼミ論文に関する報告を各自で行います。質疑応答。	第14講	個別指導	ゼミ論文執筆の個別指導。必要に応じて履修者同士の情報交換を行います。
第7講	報告	ゼミ論文に関する報告を各自で行います。質疑応答。	第15講	まとめ	ゼミ論を提出します。本講での学習内容を総括します。
第8講	中間のまとめ	各自の報告を受けて、留意すべき点や資料収集の方法について情報を共有します。	定期試験		ゼミ論の提出を受け、その内容と努力の度合いにより評価する。
評価方法		授業への取り組み（30パーセント）、課題に対する評価（70パーセント）により総合的に評価する。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
			門脇厚司『社会力を育てる—新しい「学び」の構想—』（岩波新書） 橋本健二『「格差」の戦後史—階級社会 日本の履歴書—』（河出ブックス） 小山静子『子どもたちと近代—学校教育と家庭教育—』（吉川弘文館）		